

様式第 2 号（第 9 条関係）

会議録

会議の名称		令和 6 年度第 2 回子ども・子育て会議			
開催日時		令和 6 年 1 1 月 1 1 日（月） 開会時刻 午前 1 0 時 0 0 分 閉会時刻 午前 1 1 時 3 0 分			
開催場所		ふじみ野市役所本庁舎 3 階 A 3 0 1 会議室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名	
	会長	小栗 俊之	事務局	皆川 恒晴	
	副会長	山城 いづみ	〃	船津 誠	
	委員	阿部 沙也香	〃	齊藤 隆之	
	〃	福元 啓子	〃	細田 春恵	
	〃	西島 亜希子	〃	関根 寛之	
	〃	橋本 幸子	〃	鈴川 貴洋	
	〃	桑原 千重子	〃	仲野 公堅	
	〃	庄子 亜沙子	〃	大川 優生	
	〃	戸塚 咸子	〃	秦 宣昭	
	〃	市來 久美子	こども家庭センター総括支援員	窪田 美保	
	〃	抜井 由美子	保育課長	桑子 恵美	
	〃	泉 彰子	保健センター所長	三原 加奈	
	〃	川目 美佳子	障がい福祉課長	川島 美紀	
	〃	土岐 幸司	学校教育課学務係長	寒竹 幸二	
会議の議題		（１）（仮称）ふじみ野市こども計画の素案について （２）その他			
会議の公開又は非公開の別		公開			
会議の非公開の理由					
傍聴人の数		0 人			
会議の内容		別紙のとおり			
会議資料		別添のとおり			
事務局		こども・元気健康部子育て支援課			
議事の確定	確定年月日	令和 6 年 1 1 月 2 7 日			
	記名押印 又は署名	会長 小栗 俊之			

別紙

発言者	発言の要旨
	1 開会
	2 会長挨拶
	3 議題
事務局	議題（１）（仮称）ふじみ野市こども計画の素案について事務局より説明
小栗会長	ありがとうございました。こども計画の素案について説明がありましたが、委員の皆様からご質問等ございますか。
土岐委員	新制度幼稚園とはどういうものですか。
事務局	今までは保護者からの授業料で幼稚園を運営していたものを、新制度に移行すると市、県、国から出る委託料で主な運営をすることになります。これまでは、保護者は園がそれぞれ決めた授業料や保育料を納めていましたが、ある程度年収に沿って決められた保育料を納めていただくことになります。国が保育や教育を一括してまとめるために平成２７年度に制度を策定しています。市にある７つの幼稚園はまだ新制度に移行していませんが、新双葉幼稚園が来年度から移行を表明した初めてのケースになります。
土岐委員	民間の運営だったものが、補助金で運営されることになるということですか。
事務局	経営面ではそれが一番大きいと思いますが、通園している方々にとっては園の教育方針等に変更はありません。
小栗会長	この素案は、前回計画を見直したり、アンケートなど一般市民の方から寄せられた意見、会議の内容等も全て加味した内容となっています。細かい部分は、委員の皆さまの現場と照らし合わせて質問、意見、感想をいただきたいと思います。国の方向性などはどのように組み込まれていますか。
事務局	国からは、ライフステージ別の計画策定という考え方が示されており、本計画の第４章に反映しています。これまでは産後の支援が中心となっていましたが、今回は妊娠前から若者まで切れ目のない支援ということでブラッシュアップして整理しています。
小栗会長	切れ目のない支援がキーワードですね。ふじみ野市に住んでいる方への独自の重点課題や方針は盛り込まれていますか。

事務局	これまでの計画の実績を加味しながら新しくお示ししています。
山城副会長	ふじみ野市では妊娠前から切れ目のない様々な支援を実施されています。どこに行けばその支援を受けられるのか、一目でわかるような一覧表があるといいと思います。
土岐委員	計画を立てることも重要ですが、こどもや障がいのある人との関わりの中では、突発的なことやイレギュラーなことが起こるので、計画ではフォローしきれない部分も出てくると思います。突発的なものに対応できるのは民間や地域の力だと思うので、市民団体や地域の団体にも支援があるといいと思います。市とつながりたいけどどうすればいいかわからないといったケースもあると思います。突発的なことが起きた時の支援等、柔軟に対応できるような心構えも持っていただきたいと思います。
事務局	出生後にお渡ししている子育てガイドブックはありますが、妊娠前からの情報提供については SNS や HP など、様々な媒体を活用して検討していきたいと思います。 民間団体の支援については、こども食堂の運営、コミュニティソーシャルワーカー、学校のコーディネーター等、地域とつながり支えていただいている部分もありますので、少しずつ行政と民間団体とのつながりについて、各々の得意分野を話し合いながら支援をしていきたいと考えています。
川目委員	こどもの職業体験や、公園でボール遊びができるようになったり、こどもたちのことを考えている取り組みが増えてありがたいと思っています。切れ目のない支援がキーワードになってくるとは思います。若者自身が悩みや不安を相談する際の難しさがあるため、今後考える必要があると思います。また、こども誰でも通園制度について、保育所は大変だと思いますが、市と地域が協力してやっていけたらよいと思います。
小栗会長	公園のボール遊びについては、こどもの未来を育むシンポジウムで男子中学生から意見がありました。
事務局	キッズランドや公園のボール遊びについての取り組みは、市が事務局として動いている部分はありますが、キッズランドは実行委員会方式ということで、市の商工会青年部の方が委員長になっていたり、公園のボール遊びも自治会や公園の愛護団体と小中学生で作りあげていただきました。全て市が主導するわけではなく、地域の様々な団体や市民の方と協働しながら、今後も課題に取り組むたいと考えています。

小栗会長	若者が意見を言える機会、場の提供があるといいと思います。
事務局	今年度の5月から1か月程度、こども・若者からの意見聴取を初めて本市で行いました。たくさんの回答が集まることはありませんでしたが、意見の活用方法や、意見しやすい環境づくり、周知方法などをブラッシュアップしながら、事業を発展し継続していきたいと考えています。
泉委員	イオンタウンふじみ野では、夏休みに城北埼玉高校の生徒に来ていただき、こどもたちの夏休みの宿題を見てもらうというイベントを開催して大盛況でした。素案を見ても、こどもたちは勉強を見てもらう場所を求めていると改めて感じました。イベントでは、読書感想文の書き方を教えてほしいなどの声が多く聞かれ、勉強以外のことに關しても学べる機会を求めていることがわかりました。施設側としてはそのような場所の提供を増やしていきたいと感じました。個人としては、こどもを産む前に保育園や幼稚園の情報を知ることができたらよいと感じました。
事務局	各団体だけでなく、市内事業者の方々にも様々な取り組みをしていただいている中で、市としても協力していきたいと考えています。
抜井委員	学校でも、子育てに悩む保護者が多いと感じています。P42のイメージ図について、幼・保・小の連携は常にさせていただいていますが、小中学校の連携もあります。
事務局	連携の部分についての記載方法については事務局で検討させていただきます。不登校や子育てで悩む保護者については、今年度の4月から、こども家庭センターを設置し、母子保健から児童福祉まで切れ目なく支援をしています。また、こどもだけでなく保護者への支援も行い、課題解決に向けて取り組んでいます。
抜井委員	学校もこども家庭センターには助けていただいています。今後もよろしくお願いします。
市來委員	第1期、第2期の計画、社会情勢の変化、こども家庭庁の設置など、全国的に色々な方向性がある中で、各市町村で様々な取り組みが行われています。地域を見ていると、子ども会の組織が減っていると感じています。
山城委員	ふじみ野市子ども会育成団体連絡協議会に加入し、現在活動している子ども会は6つで、休会している子ども会が2つあります。

市来委員	保護者が忙しいことも大きな原因だと思います。民生委員・児童委員としてこどもの成長を考え、年間 10 回程度遊びの公園を展開しています。地域の子育て事情も変化し、各保育園で預かり保育を展開し、子育て世帯の支援は以前に比べると充実してきていると感じています。民生委員・児童委員は赤ちゃんからお年寄りまで行政に繋ぐことが大きな役割なので、今後もこどもまんなか社会として関わってまいります。5 年間の方向性が示されたことに大きく期待をしています。
事務局	子ども会や PTA では、共働き家庭の増加のためか、余裕がないので市や学校にやってほしいという声が挙がっているという話も聞いています。昔は近所の空き地で暗くなるまでボール遊びができたという話もありますが、行政が管理をする中でボール遊びができなくなってしまった理由もあると思います。行政が一方的にルールを決めるのではなく、こどもや公園を利用する市民の方がお互いを尊重しながら決まり事を作るということも大切だと思います。
戸塚委員	外国籍のこどもがすごく増えています。ふじみ野市でも P80 のように対応を考えていただいています、先進的な取り組みをしている他市町村を参考にしながらより一層頑張りたいと思います。
事務局	日本語が全く分からない外国籍の保護者の方が相談にくることがありますが、窓口では各職員が何とか工夫して対応し、必要な案内はできている状況かと思っています。今後も他市町村の取り組みを注視しつつ、職員も何ができるか考えて対応していきたいと思っています。
庄子委員	素案については、読み応えのある仕上がりで勉強になりました。これが市民の方々が手に取りやすく、わかりやすいものになるとよいと思っています。放課後等デイサービスでは、事業所で保護者懇談会を開催し、保護者同士の意見交換を行っています。その中で出てくる意見としては、髪の毛をどこで切っているか、障がいがあっても通える歯医者はどこなのかなど、生活に密着した困り事が多くあります。そのような情報がまとまった冊子があると保護者の方は助かると思います。
事務局	手に取りやすい計画書になる工夫として、市の取り組みを紹介するコラムの掲載があります。次回の会議でその部分もお示ししたいと考えています。 生活に密着した困りごとについて、生活保護のケースワーカーをしていた際に、障害者手帳等があるからと言って障がい福

	祉課に行けばなんでも情報がわかるものではない、という話がありました。そこで、懇談会等の口コミが大事だと改めて感じています。地域福祉課では、民間団体が実施しているこどもの居場所情報を市のホームページを使用して情報提供を行っているので、今後も情報提供等、協力していきたいと考えています。
桑原委員	先日、日本語が話せない中国人の女性が働きたいと訪問してきたので、国際交流センターへ相談をして、中国語がわかる行政書士の先生につないでいただき、つながることの大切さを感じました。国際交流センターでは、学校の授業についていけない小学生を大学生のボランティアが見てくれていて、コツコツ頑張っている場所があることを知り大変感動しました。P82の障がい等の早期発見と早期支援について、時々保護者の相談の中で、保健センターで様子を見ましようと言われて連絡を待っていたが、連絡がこないというケースがありました。発達に心配のあるお子さんだったので、何度かきていただき、段々親御さんも色々なことが見えてきたと思います。風の里では、小さい頃から生活習慣が身につくような場所として、保健センターと上手くつながることができたらもっと親御さんの力になると思います。
事務局	こどもの居場所について、学校には行けないが学童には通いたいというこどもがいます。学校に行かない子は、学童には行っていないのではないかと、こども自身も遠慮をしている部分があり、どこに報告、相談をしたらよいのかお伺いしたいと思います。
戸塚委員	放課後児童クラブについては、市内小学校に籍があれば通えます。国際交流センターへのご相談については、子ども・子育て会議が開かれる大きな意義だと感じました。市内でどのような団体がどのような活動をしているのか中々わからない中で、委員同士の交流による情報共有も大きな意義だと思います。
事務局	学校に籍がない外国籍のこどももいるので、そのこどもたちの居場所づくりについても市で考えていただきたいです。
戸塚委員	例えば児童センターであれば、幼児期から高校生まで受け入れています。ただ、個別具体的な内容は教育委員会に相談していただきたいと思います。
	住民登録の際に、すぐに学校には入れてもらえないケースがあるようです。住民登録の際に、窓口で児童センターや図書館の情報提供もしていただきたいです。

事務局	就学の義務があり、外国籍の方もなるべく早く就学できるよう指定校と調整しています。しかしその方の日本語能力で学校に行っても不登校になることがないように、一定期間家庭で日本語を勉強してもらう等のお願いをする場合があります。
戸塚委員	日本語能力のないこどもたちは、誰が責任を持って日本語能力を身に付けるのか、そのあたりも考えていただきたいと思います。
事務局	1歳半健診を受けた際は、少し様子を見ましようとお話をする場合が多いかもしれません。2歳までの間に連絡をしますと保護者の方に話しますが、その間にすくすく相談や、育児専門相談、健診フォロー相談、理学療法士や作業療法士につなげることもあります。ただ、2歳になり、保護者に電話をしてもほとんどの方がつながらない状況があります。仕事をしている場合は日中電話がつかない方が多いので、手紙の郵送等対応も行っていますが、どのように保護者の方とつながればよいか保健センターでも課題になっているので、伝達方法等の工夫は今後必要になってくると思います。日常生活のリズムを整えることでこどもの発達は促されるので、健康づくり計画の中でも生活リズムを整えること、朝食を食べること、睡眠をとることを掲げていますが、周知徹底をしていきたいと思っています。保育園との連携については、個人情報もあるので中々難しい面もありますが、情報共有を図っていききたいと思っています。
橋本委員	平成27年度から国の一本化事業として新制度移行がスタートしました。幼稚園から認定こども園への移行型と施設型給付移行型があります。9つあった私立幼稚園のうち2園が認定こども園に移行しましたので、私立幼稚園は7園となっており、その中の、新双葉幼稚園が今回、施設型給付を受けるということです。富士見市では、ほぼ移行が済んでおり、全国的にも移行が進んでいる状況です。ふじみ野市も今後移行が進み、会議の場でも話題に挙がると思いますのでよろしくお願いします。
小栗会長	私立幼稚園は、自分たちの教育理念に基づいてこどもたちを預かっていると思いますが、認定こども園に移行した場合は、行政の領域に入っていくことになります。企業的思考方のよさと公務員的思考方のよさがあると思います。
西島委員	幼稚園PTAの立場から発言させていただきます。先日PTA連合会とふじみ野市との間で懇談会がありました。保護者の皆さんは、福岡中央公園におけるボール遊びの件は大変喜んでおられました。また、要望を受け止めてくださる市の子育て支援の姿勢には、皆さん感謝していらっしゃいます。一方で、柔らかい

	ボールでの遊びや親同伴の自転車練習を許可している公園もあるという情報を知らない保護者の方もいて、子育て世代だけでなく、市民が情報共有できる手段を増やしたいという話もありました。地域のイベント等の告知についても LINE 等で得られると便利です。また、自分から見にいかないと情報が得られないのではなく、コラムのような形で具体的に紹介していただけると助かります。幼稚園では園児数が減少している中、園長先生も何かできることはないかといつも考えていらっしゃいます。会議等のさまざまな場で行政と連携していきたいと思っています。
山城副会長	若い方々は、ふじみ野市の F メールをあまり見ないのでしょ うか。
西島委員	メールもありがたいのですが、懇談会では、写真がなく文字ばかりで頭に入ってくるにくいという意見が多く出されました。情報を得る手段はメールから LINE 等に変化してきています。視覚に訴えるという点は大事だと考えます。地域の情報を得たい保護者は多く、PTA では F メール登録も呼びかけています。保護者の間では、イオンタウンふじみ野の情報は人気があり、休日だけでなく、平日の降園後の地域情報も得たいと思っています。
小栗会長	この資料のコラムはよい発想で、視覚に訴えることは大事であり、情報発信というのが一番の課題だと思います。
福元委員	P31 基本施策 1 教育の支援について、以前は特別支援学級の数 が少なかったが、今は環境が整って、親として選択肢がいくつ かあることがありがたいと思います。また、計画書策定のため に団体とのヒアリングがあったと思います。P47 のこども・若者 が意見を表明する機会の確保について、これからは障がいのあ る本人が意見を言える機会をもっと増やす必要があると感じて います。不登校やグレーゾーンの場合は、大きくなるまで障が いに気づかず、社会に出てから苦労するケースも多くありま す。計画書を見た障がい者本人が、自分について書かれている ことが認識できて、自分たちは守られているから、勇気を持っ て声をあげていこうと思える機会をつくっていただきたいと思 います。
小栗会長	障がい者が通える歯医者や髪を切る場所などについても、コ ラムに掲載するという方向性も考えられます。
事務局	F メールは画像添付できますが、発信者がそれを認識してい ない可能性があるのでは、周知していきます。情報発信について、

阿部委員

メール等の通知がくるものに関しては、登録解除やブロックをしてしまう人が多く、InstagramやXは情報が流れて追いきれないという、それぞれのデメリットがあります。情報発信としては、学校を通して配布したチラシに最も効果があったケースもあり、事業、タイミング、対象者等、取組ごとに適切な情報媒体は異なると思います。対象者や事業ごとに適切な媒体を使い分けることができることが理想で、計画としては引き続き情報発信に取り組むこととします。

こども・若者が意見を表明する機会の確保については、こども家庭庁から乳幼児の喃語や身振り手振りによる意見表明の必要性も示されていますし、障がい児・者の意見表明の大切さも認識しております。市としては試行的に実施した取り組みを少しずつ広げていきたいと考えています。

現在育休中ですが、来年4月から共働きになるにあたり不安があります。保育所ではペーパーレス化が進んでいますが、児童クラブでは紙媒体の連絡帳を使っており、スタッフ不足も深刻という話を聞きました。人材不足について市で取り組んでいることがあれば教えていただきたいです。都内から転入してきたひとり親の方が、都内で無料だった学童の費用が月15,000円かかり躊躇しているという話を聞いたことがあります。東原小学校区から児童センターは遠い場所なので、こどもの居場所があると安心です。

また、市報をよく読んでおり、ステラ・ウェストで開催されるコンサートに行ったことがあるのですが、ステラ・ウェストのInstagramのフォロワー数が少ないことが気になります。市報等で呼びかけたらもっと注目されると思います。SNSにもう少し力をいれていただきたいです。

事務局

放課後児童クラブは指定管理者として市が依頼している事業者には職員の募集に注力していただいております。ペーパーレス化もできる部分から少しずつ実施しているところです。児童クラブの費用について、兄弟の有無や所得による免除等の制度がありますので必要な場合は活用していただきたいと思います。SNSに関しては、よかったと言ってもらえるような運営を目指したいと思っています。

また、放課後児童クラブの費用は15,000円ではなく月額9,000円です。都内で無料というのは減免等のさまざまな条件があると思われます。ふじみ野市でも無料になるケースもございます。

小栗会長 事務局	他にご意見等なければ議題（２）に移ります。 議題（２）その他については特に報告事項はなし ４ その他 （１）事務局からの連絡等は特になし
事務局	本日の会議にて、現在の委員の皆様の任期が終了となります。継続して委員を務めていただける方は、次回会議についてもよろしくお願いいたします。本日で終了となる委員の皆様におかれましては、誠にありがとうございました。今後ともふじみ野市のこども・子育てに限らず、市政へのご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。 ５ 閉会